

長期ビジョン

長期ビジョンの策定

当社は、1949年12月に「日曹製鋼株式会社」として創立して以来、さまざまな危機を乗り越え、多くの諸先輩方の努力に支えられながら、今日まで事業活動を行ってきました。

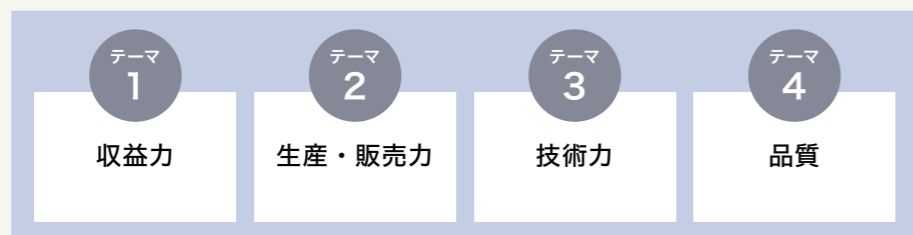
2016年5月に「総合力世界トップクラスのリチウムメーカーを目指す」ことを長期ビジョンとして掲げ、当社の強みを踏まえ柱となる4つのテーマを設定しました。この長期ビジョンの達成に向け、テーマごとに具体的な目標とその方策を決め、活動を推進しています。

経営理念 人の力を活かし、地球の資源をより有用なるものとして提供し、人類社会の幸福に貢献する

当社の持つ強み



重点テーマ



長期ビジョン

総合力世界トップクラスのリチウムメーカーを目指す

※「総合力」とは各テーマすべてに世界トップクラスの優位性を持つこと

経営方針

1. 当社グループ全体の経営戦略を一体化して、グループ各社のシナジー効果を最大限に発揮すること。
2. 世界に誇る製錬技術の開発と品質向上に全力を傾注し、経営の効率化と競争力で世界有数の基盤を確立すること。
3. コンプライアンスを推進すること。
4. 公正・透明・自由な競争を通して、適正な利益を確保すること。
5. かけがえのない地球を守るため、あらゆる環境問題に積極的に取り組むこと。
6. 社員の個性を伸ばし創造性を十分に発揮させるとともに、物心両面のゆとりと豊かさを追求し、生きがいのある職場を実現すること。
7. 広く社会との交流を進め公正な企業情報を積極的に開示すること。

企業倫理規範

1. コンプライアンス並びに社会的規範の遵守

- ・コンプライアンス及び社会的規範並びに社会的良識に基づいた企業活動を行う。
- ・社会の秩序・安全を脅かす反社会的勢力と絶縁し、健全な企業活動を行う。
- ・国際的企業活動において、国際ルールや現地の法令を遵守し、また現地の文化や習慣を尊重し、その国の発展に貢献する企業活動を行う。

2. 地球環境の保全

- ・環境問題への取り組みは、企業存続の必須の要件であることを認識し、積極的に、環境改善に寄与する企業活動を行う。

3. 地域社会との共生

- ・地域社会との連携と協調を図り、地域社会の発展に寄与する企業活動を行う。

4. 顧客の信頼確保

- ・需要家のニーズにあった品質、安全な製品を提供する。

5. 利害関係人との良好な関係維持

- ・経営の公正・透明性を確保することにより、株主、債権者の期待に応え、信頼と支持を得る企業活動を行う。
- ・需要家、取引先、従業員、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係維持に努める。

6. 従業員の連帯と自己発現が出来る職場環境づくり

- ・従業員の主体性と創造力を大切にする企業風土を育成する。
- ・雇用における差別を行わず、機会の均等を図る。
- ・職場の安全と従業員の健康の確保を図る。
- ・基本的人権を尊重し、差別のない公平な職場環境作りを図る。

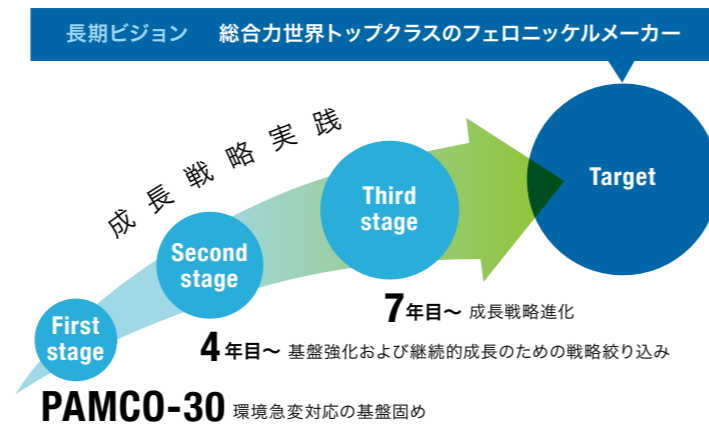
7. 社会とのコミュニケーション

- ・企業活動に求められる社会の要求を収集するとともに、必要に応じて企業情報を積極的かつ公正に開示する。

PAMCO-2021の活動実績

PAMCO-2021は、長期ビジョン達成のための第二段階として2018年度に策定した中期経営計画です。第一段階で固めた基盤の強化および継続的成長のための戦略絞り込み、さらには社会の持続可能性に配慮した企業への成長を目指し、事業活動を行ってきました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社員の教育プログラムが一部未実施となりましたが、その他の重点施策については達成することができました。鉱石調達では、フィリピンで一部のニッケル鉱山が一時操業を停止しましたが、操業・出荷状況は回復しています。ニューカレドニア鉱石の調達拡大を推進し、鉱石の長期安定調達を目指します。



新型コロナウイルスへの対応

国内外に影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症に対して、当社は、取引先および従業員の安全を第一に考え、「感染拡大防止に関する行動指針」を策定し、感染予防に努めてきました。2020年度は、当社従業員から新型コロナ感染者が発生した時のマニュアル「新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者発生時対応マニュアル」を作成し、保健所への社内対応、当社HPによる情報開示、社員による外部への情報開示（家族の方の仕事先の出社、子供の登園・登校の可否確認等）についてマニュアル化しました。

また、新型コロナウイルス等の職場消毒マニュアルを作成し、日常的な消毒、発熱者（感染疑い）が発生した際の消毒、発熱者（感染疑い）がPCR検査対象となった際の消毒についての職場対応を明確にしました。引き続き新型コロナウイルス感染症への対応に努めていきます。

項目	基本方針	重点施策	達成状況	2020年度の活動実績	今後の活動方針
◇経営基盤の強化・再整備並びに成長に向けた戦略の絞り込み					
①	最適生産体制構築のための「設備」の強化と「鉱石」の安定調達	◇フェロニッケルの最適生産・販売体制の構築 ●生産体制：海外製錬の展開を含めた全体最適生産体制の構築および経営基盤のさらなる強化 ●販売体制：既存取引先への安定的販売強化、さらには新規の顧客獲得 ◇ニッケル資源調達の長期安定化 ●既存契約更新をベースにソース拡大も視野に長期安定調達 ●資源権益取得、海外製錬等への取り組み	○	●老朽化設備の計画的更新（6号電気炉のトランス更新・再稼働） ●新規鉱山開発及び鉱山権益獲得に向け、東南アジア、南太平洋諸国の案件調査を継続 ●ニューカレドニア鉱石の調達拡大	◇フェロニッケルの最適生産・販売体制の構築 ●老朽化設備の計画的更新の遂行 ●省エネ及びCO ₂ 排出量低減に寄与する設備投資の推進 ●海外パートナー候補との関係強化による事業化を含めた検討を継続 ●既存取引先への安定的販売強化、さらには新規の顧客を獲得 ◇ニッケル資源調達の長期安定化 ●新規鉱山開発及び鉱山権益獲得を図る
②	海外事業展開を視野に入れた取り組み			●海外パートナー候補との事業化を含め検討範囲を拡大	
③	国内事業の多角化	●収益変動の低減と将来の収益基盤強化に資する事業の多角化を目指す	○	●湿式製錬技術を活用した、フェロニッケル以外の製品製造に係る事業採算性の評価に着手 ●スラグ製品化技術の更なる研究開発の着実な前進	●湿式製錬技術を活用した、フェロニッケル以外の製品製造に係る事業採算性を追求 ●リサイクル事業の拡大或いは再編の可能性を追求
④	収益力の強化	●コストダウンを推し進め、収益性の高い最適生産体制を追求する	◎	●LMEニッケル価格の変動リスクに対する対応 ●あらゆるコスト削減を継続的に実施（約9億円の削減効果） ●ニッケルを含むリサイクル資源の活用量拡大による製造コストとエネルギー使用量の低減 ●廃棄物熔融処理技術向上による操業コストの低減	●LMEニッケル価格の変動リスクに対する対応を継続 ●あらゆるコスト削減を継続 ●ニッケルを含むリサイクル資源の活用量を拡大 ●各種課題を踏まえたプロセスの構築及び業務改革の取り組みを推進
⑤	事業環境の変化を見据えた「組織」と「人材」の強化	●目標達成に向けた柔軟かつ最適な組織づくり ●スキル底上げによる人材の強化	△	●階層別、全社共通の教育プログラムを計画するもコロナ禍にて一部未実施	●各種教育プログラムの計画的実施
⑥	キャッシュ・フロー重視の経営	●適正な資産状態を維持し、効率的なキャッシュ・フローを把握することにより、経営の安定化を高める	◎	●キャッシュ・フローの適切把握・適切管理により経営のリスクを低減	●キャッシュ・フローの適切な把握・管理により、経営のリスク低減と安定度を高める
◇社会的・経済的価値の創出					
⑦	持続可能な社会の実現への貢献	●地球温暖化防止対策の追求、地域並びに資源国発展への寄与 ●従業員一丸となったゼロ災達成 ●コンプライアンス、ガバナンス体制の強化	○	●フェロニッケルスラグの全量リサイクル化による循環型社会への貢献 ●製造設備の改良及び廃棄物処理技術の向上による環境負荷低減を推進 ●引き続きニッケルを含むリサイクル資源の活用量を拡大し、環境に配慮した生産を推進・従業員一丸となりゼロ災を目指すも未達 ●統合マネジメントシステム (IMS) の活用による法規制順守	●リサイクル資源の活用及びCO ₂ 排出量の低減等、環境に配慮した生産を推進 ●従業員一丸となったゼロ災達成 ●コーポレート・ガバナンスの充実・強化

達成状況 ◎：達成 ○：概ね達成 △：未達成